

岸辺露伴は変わらない
～変化を繰り返す日常
～

気まぐれな富士山

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

杜王町在住の人気漫画家、岸辺露伴。

これは、彼にまつわる不可思議な話。

過去、現在、未来、そして世界を、彼は目撃した。

そのお話をほんの少しだけ覗いてみよう。

これは、『岸辺露伴は動かない』のクロスオーバー作品です。

今のところ考えているクロスオーバーは、

・ウマ娘プリティダービー

・ブラック・ジャック

・Fateシリーズ

・東方Project

・中間管理職トネガワ

・東京卍リベンジャーズ

・グラップラー刃牙

ここから多分増えていきます。

了承できる方のみ閲覧ください。

目次

プログラグ

1

プロローグ

「腕を上にあげて、手首の角度はキッチリ90°をキープ。各指は曲げずに真っ直ぐを保つ。」

日常には、感じられないほど小さな変化が訪れる。

毎日同じく日常、常なる日。

何も変化のない日常

そんなものは無い。

「腕を前に出し、指を一本づつ折っていく。この時の手の角度も90°」

『不変』とは有り得ない。

有り得ないというのはつまり、『確実に無い』ってことだ。

それが訪れる瞬間、『不変』が訪れる瞬間に、この世界は破綻する。

まあ、訪れることは決してないのだが。

「1・2・3・4・5」

なぜなら、人間というものは自ら変化していくからだ。

明日は何を食べよう、誰と話そう、どの足で前に出ようなどなど
挙げればキリがな

い。

「閉じた指を、また開いていく」

この岸辺露伴もまた同じ。

変化を求め、変化に富んだ者をよく観ることが好きだ。

ただ見るのではなくよく『観る』ことだ。

僕に与えられたギフト

まあ、この話はまた今度するとしよう。

「1・2・3・4・5」

そしてこれから綴るのは、僕が体験した数々の話だ。

それも、きつと別の世界の話。

可憐な『馬女』の話。

奇妙な運命を辿る『無免許医師』の話。

人類の過程に遺る『英霊』の話。

誰も知らない『幻想郷』の話。

自身の努力でNo. 2になった『中間管理職』の話。

未来を変えようと奔走する『不良少年』の話。

e t c

これは、現実リアルと幻想エゴゴの狭間のような世界を駆けたこの岸辺露伴の、実際にこの目で、耳で身体で感じた話だ。

「以上、漫画を描く前の準備体操、終わり。」

主人公 岸辺露伴

16歳の時から漫画『ピンクダークの少年』を連載している天才漫画家。虹村形兆の弓矢により、スタンド能力が発現した。面白い漫画を描くことを重要視していて、ネタ集めのためには手段を選ばない。

・ 生年 : 1979年

・ 血液型 : B型

・ 職業 : 漫画家

・ 代表作 : 『ピンクダークの少年』

・ アシスタント : なし

・ 出身地 : M県S市杜王町

・ 性格 : わがまま、エゴイスト

・ 友人 : 広瀬康一

能力　ヘブンス・ドアー

人間や生物を読み書き出来る本のようにする能力。本になった対象の遠い記憶や深層心理を読み取ったり、新たな事項を書き加えて相手の行動を制限することができる。ただし、露伴自身の遠い記憶や運命は読み取れない。